

(様式 1-3)

福島県(川内村) 帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票
令和5年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	49	事業名	川内村移住・定住支援センター設置・運営事業	事業番号	(7)-49-1
交付団体	川内村		事業実施主体(直接/間接)	川内村(直接)	
総交付対象事業費	(10,599(千円)) 63,680(千円)		全体事業費	(10,599(千円)) 63,680(千円)	
帰還・移住環境整備に関する目標					
<p>当村は現在、急激な人口減少と超少子高齢化に直面している。これまで各種インフラ整備などを行ってきた結果、住基人口の約8割が戻るなど村の生活が再開されてきているように見えるが、帰村状況を見てみると、子どもや若い子育て世代の帰村率が低いなど、新たな課題が発生している。</p> <p>一方、震災以降、復興関連業務や様々な支援事業のため、他地域から来村し、当村と交流・関わりを持つ人々の中から、村に移住して、経済活動や支援活動等に取り組んでいる人材も着実に増えてきており、新たな移住者が住民にはなかった視点を持ちながら、事業を立ち上げ、地域活動の担い手となるなど新たな風を巻き起こしている。</p> <p>今後、当村が地域力を維持させていくためには、地域活動の担い手並びに農業等の基幹産業及び村が推進するワイン事業等新規事業の担い手確保とともに、村内の地域課題を解決できる新たな活力の呼び込みが重要であることから、移住・定住促進施策を更に強化する。</p>					
事業概要					
<p>「川内村移住・定住支援センター」において、移住希望者からの相談対応や移住・定住に関する情報発信、移住に関する各種相談業務などの取組を行う。</p> <p>また、移住希望者が移住を検討するための短期滞在施設として、お試し住宅を整備する。</p>					
当面の事業概要					
令和5年度					
1. 移住相談業務					
移住希望者がスムーズに移住できるようにするため、移住希望者から寄せられる住まい探しや就職先探しといった様々な相談にワンストップで対応する業務について、業務委託する。					
また、移住相談対応向上のため、川内村移住・定住支援センターの環境整備を行う。 (中期戦略 VI. 1. 取組6)					
2. 移住定住相談会					
首都圏等において移住定住相談会を開催したいため、「ふくしま12市町村移住支援センター」や「ふるさと回帰支援センター」が主催する移住定住イベントに参加するとともに、川内村移住定住相談会の出展について、業務委託する。 (中期戦略 VI. 1. 取組6)					
3. 移住定住交流イベント					
移住者がくらしの中の問題点等(課題)を気軽に話せる機会を設けるため、先輩移住者と新規移住者との交流の場とするサロンや移住希望者による川内村体験イベントの開催について、業務委託する。					

<p>(中期戦略 VI. 1. 取組6)</p> <p>4. お試し住宅設置・運営</p> <p>移住者希望者が村のくらしを気軽に体験し、移住を検討するための施設として、お試し住宅の設置・運営について、業務委託する。</p> <p>(中期戦略 VI. 1. 取組5)</p>
<p>地域の帰還・移住等環境整備との関係</p> <p>当村における移住・定住に係る相談対応を一元化することにより、移住・定住人口の増加が図られ、村の活性化及び地域力の維持が期待できる。</p>
<p>関連する事業の概要</p>

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	